



社会学と社会調査

経営情報学部 経営学科
教授 山本努 (やまもとつとむ)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1727号室
Tel 082-251-9971 Fax 082-251-9971
E-mail tutomu@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 社会学

キーワード： 地域社会学、社会調査、過疎、農山村

● 現在の研究について

1) 地域社会学、社会・地域問題論の諸問題

具体的には人口減少・過疎・高齢化・少子化・自殺問題・結婚・定住問題・人口移動・人口還流(Uターン、Iターン)・地域意識・家族・地域景観・社会移動・階層論(階級論)・地方都市・農山村・地域福祉・生活構造・生活問題・高齢者問題などの分野で、理論と調査の両面からのアプローチを試みている。

2) 地域(社会)調査と理論構築の諸問題

量的調査、質的調査、村落調査、生活構造調査、公的統計の活用(ミクロ統計の利用含め)、集落調査、質問紙調査、聞き取り調査などの調査方法論の諸問題について検討してきた。「中範囲の理論(theory of middle range)」の立場から、現状分析、命題(仮説)索出・検証、理論構築をめざしている。

最近の主要論文・著作

- 1) 山本努、辻正二、稲月正『現代の社会学的解読』学文社、2006
- 2) 堤マサエ、徳野貞雄、山本努編『地方からの社会学-農と古里の再生を求めて-』学文社、2008
- 3) 谷富夫、山本努編『よくわかる質的社会調査-プロセス編-』ミネルヴァ書房、2010
- 4) 山本努『人口還流(Uターン)と過疎農山村の社会学』学文社、2013

最近の主な学会報告

- 1) 山本努、高野和良(九州大学)「過疎の新しい段階と地域生活構造の変容-市町村合併前後の大分県中津江村調査から-」日本村落研究学

会(2012年大会、テーマセッション「平成の市町村合併と農山漁村」、鳥取県智頭町旧山郷小学校)
2) 山本努「限界集落論への疑問-再論-」西日本社会学会(2013年大会、琉球大学)

● 今後進めていきたい研究について

- 1) 過疎農山村、離島の生活構造論的研究
- 2) 地方都市の地域社会学的研究
- 3) 少子高齢化の地域問題論的研究
- 4) 地域社会学、環境社会学、福祉社会学、社会問題論、家族社会学、社会調査論などの諸問題

地域との連携

● 地域・社会と連携して進めたい内容

- 1) 過疎農山村、離島、地方都市などの地域課題をめぐっての地域調査
- 2) 地域調査に基づいた地域分析、地域計画など

● これまでの連携実績

- 1) RCC中国放送プロジェクトEタウン「わが町のGSを守れ」(2012年放送、コメンテーター)
- 2) 大和人権学習会講師「演題：現代農山村の社会分析-過疎地域は本当に限界なのか?」(2012年、三原市大和人権文化センターにて)
- 3) 地域調査報告「山間地域住民の医療、福祉、および、生きがい意識などをめぐって」(2013年、広島市役所および佐伯区湯来西公民館にて)

